

1998年ノボシビルスク国際コンクールジュニア部門第1位、メニューイン国際コンクールジュニア部門第3位を獲得し、ケルン音楽大学に最年少15歳で入学。

その後パリ市立音楽院、桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、バーゼル音楽院修了。

2006年にウェールズ弦楽四重奏団を結成し、第1ヴァイオリン奏者として、ミュンヘン国際コンクール弦楽四重奏部門、大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門にて各3位を獲得。

メナヘム・プレスラー、アレクサンダー・ロマノフスキー、ポール・メイエ、ミッシェル・マイスキー各氏ほか、多くのアーティストらと室内楽を共演。

2014年より8年間、神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターを務めた。

ヴァイオリンを、原田幸一郎、ザハール・ブロン、ジェラルド・プーレ、ロラン・ドガレイユ、ダニエル・ゼベック各氏に、弦楽四重奏をライナー・シュミット氏（ハーゲン四重奏団）に師事。

現在は、ウェールズ弦楽四重奏団、石田泰尚とのヴァイオリンユニット「DOS DEL FIDDLES」、等で活動し、全国のオーケストラに客演コンサートマスターとして多数出演している。

2022年10月、バッハ無伴奏曲を中心としたアルバム『destined for...BACH』(fontec)をリリースし、レコード芸術12月号 特選盤に選出された。